

# 所 感

長崎市議会議員 堤 勝彦

## 福州市表敬訪問



初日の訪問先である福州の空港には夕方到着し同市内にある西湖大酒店というホテルまでパトカー先導による要人専用バスにて送迎していただきました。

そして我々公式訪問団は、このホテルの大広間にて、両市ごあいさつを兼ねた意見交換、その後続けて歓迎レセプションを開催していただき、そこでの話から両市に歴史的な深い繋がりがあるところを感じました。

## 記念植樹



2日目、市内の中心を流れる川の兩岸にある閩江公園にて、福州市の木であるガジュマルの木を植樹させていただきました。ここでも福州市の演出に大変驚きました。

## まちづくり研修



その後公式訪問団は「まちづくり研修」「教育分野研修」「水道交流研修」「水産交流研修」「経済交流研修」の4コースに分かれ、「まちづくり研修」コースを選んだ私は、福州市城郷企画局にて研修を受けました。

ここでは、地下鉄等を含む近代的なまちづくりについて説明があり長崎も駅周辺を含む交通網が早く便利になればいいのにといいながら聞かせていただきました。

## 観光プロモーション



そしてホテルに戻り、福州市の観光関係者等の方々へ、スクリーンを使って長崎の観光プロモーションを行い、福州市側からは「長崎とゆかりのある中国人から見る長崎の魅力」についてを数名から話していただきました。

長崎を気に入ってくださっていることを確認できとてもいい気分になりました。

## 授与式および長崎市・福州市友好都市提携30周年記念祝賀会



福州市から長崎市長に「福州市榮譽市民証」、長崎市から福州市長に「長崎市国際親善榮譽証」の授与があり、続けて長崎市・福州市友好都市提携30周年記念祝賀会が開かれ、市民を含む訪問団96名をもてなしていただきました。

## 温泉公園視察および市内クルーズ



祝賀会后、バスで温泉公園を視察にいきました。そこでは5千人を超すであろう市民が、グループごとに集まってダンスや太極拳や歌などを楽しんでいました。

我々も歌のグループに交わらせていただき、日本語で「北国の春」を合唱すると、日本のアイドルグループが来たかのように会場中割れんばかりの拍手が沸き起こり、喜んでくださっているのが分かりました。



その後、市内を川面から一望できるクルーズ船に乗って約1時間のナイトクルーズ。

市内の多くの橋や建物は電飾や照明器により照らされており何ともいえない光の世界を体験できました。

夜景を観光資源にするならこのような取り組みも参考にした方がいいのかもしれない…

空港到着からこれまで、市内の各所に「長崎市の訪問を歓迎します」といった横断幕や表示があり、この船にも電光掲示板にて表示してあり福州の人々のおもてなしに心の底から感激しました。

### 三坊七巷視察



3日目、林則徐小学校にて、約400～500年くらい前のまち並みが残る三坊七巷地区を修復し観光客誘致に繋げようという取り組みがあることを聞きました。

更に見学もさせていただき、この取り組みは本市の観光に対する取り組みと似ており大変参考になりました。

### 上海万博視察



4日目、昨夜のうちに移動してきた上海にて万博会場を視察。人・人・人の多さに圧倒されました。そのため人気のパビリオンへは入館できませんでした。

しかし日本館だけは9月24日から開催されている「孫文と梅屋庄吉展」を視察ということでこのコーナーにだけは入れ、長崎の観光地を中国語によるビデオにて放映させていただき、ここでも大きな拍手をいただきました。



## 豫園視察



上海万博視察後、バスで豫園という明時代に四川省の役人であった潘充瑞が建設した庭園（約2万㎡）に行きました。

すぐ側にある豫園商城という商店街も、現地ガイドさんが日本語で説明して下さい、大変助かりました。

庭園もみごとでしたが、商店街は日本の浅草のように活気にあふれていま

した。

長崎でもグラバー園などと協力し付近の商店街活性化へと繋げることができないかを考えていかなくは…と改めて思い知らされました。

今回初めて海外出張をさせていただき、研修と同時に長崎の宣伝を外国の人々に出来たということが、本市にとっても大変ありがたいものであったと思います。

また、異国の文化を肌で感じ、自分達のまちの良さと悪さを知る事ができ、なおかつ私たちの愛する長崎を世界にアピール出来るこのような機会は本当に素晴らしいと感じました。

どうか1人でも多くの外国人が長崎を訪れていただけることを祈ります。